

平成30年度当初予算の主な事業

鏡野町では、毎年度、最重点施策及び重点施策を設定し各種事業に取り組んでいます。平成30年度最重点施策及びそれぞれの主な事業は次のとおりです。

I. 【最重点施策】

1. 健康づくりの推進

「健康づくりの推進」については、平成29年度から引き続き最重点施策とし、重点投資により成果の向上を目指します。特定健診の受診率の向上に努めます。また、「生涯スポーツの推進」等のすべての健康づくりに関連する施策と連携し、体を動かし、町民の健康意識の向上に努め、健康寿命を延ばし、医療費の抑制につなげていきます。

① 検診（健診）の受診率の向上

↓ 検診（健診）を多くの方に受診してもらえるように、実施方法の改善に取り組み、受診率50%を目指します。

特定健康診査等事業 後期高齢者健康診査事業

各種検診費用の無料化

② 医療費の抑制

↓ 増加傾向にある医療費の内訳を分析し、対策を立て、医療費の抑制に努めます。

③ 健康づくりの取り組み強化

↓ 生活習慣を改善して健康寿命を延ばすために町民一体となって健康づくりに取り組みます。

健康づくり事業 かがみの健康チャレンジ事業

上齋原地域トレッキングコース整備事業

2. 林業の振興

「林業の振興」については、平成30年度から最重点施策とし、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても「農業の振興」と同様に仕事の確保に重要な施策と位置づけられており、重点投資により成果の向上を目指します。

① 健全で豊かな森林づくりの推進

↓ 荒廃化している山林と手入れ不足の森林において間伐等を推進します。

間伐促進等特別対策事業 間伐材運搬費補助事業

作業道整備補助事業

② 林業従事者の確保・育成

↓ 森林組合等の林業関係団体と連携し、林業従事者を確保・育成に努めます。

地域林業担い手サポート事業

林業研究グループ育成事業

③ 山林の活用方法の検討

↓ 林業の振興を図るため、木材利用だけでなく林産物の栽培等、山林の多様な機能を活かした新たな活用方法を協議・研究します。

↓ 森林づくり協議会、森林組合と連携し、町産材の活用推進を図ります。

ウッドイハウス応援キット用モデルハウス製作事業

ぬくもりの木で家づくり推進事業 特用林産物生産施設整備事業

④ 森林環境税の活用方法の検討

↓ 森林環境譲与税（仮称）の導入に向けて、町としての活用方法を検討します。

3. 定住化の促進

「定住化の促進」については、平成29年度から引き続き最重点施策とし、重点投資により成果の向上を目指します。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のひとの創生・定住において、この施策の役割が重要であり、転出を減らし、転入を増やすことで人口の減少に歯止めをかける必要があります。

定住化は他との横断的な施策として連携が重要であり、その観点からも一層の強化を図っていきます。

① 町の知名度の向上対策及び情報発信

↓ 連携をしている自治体や大学・団体との連携・事業を強化し、より鏡野町の知名度を上げます。

「ウツワンのふる里研究所」構想推進事業 岡山大学との連携

美作大学・美作高校との連携

↓ 町の魅力を高め、人が集まり、住んでみたいようになるように必要な情報を発信します。

マスコミキャラクター「おゆりん・みずりん」を活用した魅力発信事業

LINEスタンプコンテンツ

↓ SNS等を活用し、鏡野町の魅力をPRします。

健康かがみのファン創出事業 SNSを活用した魅力発信事業

② 定住希望者への支援の充実

↓ 空き家情報の積極的な提供等を行ない、移住・定住を促進します。

定住促進事業 人と地域をつなぐ鏡野町案内人事業

田舎暮らし体験事業 空家改修補助事業

↓ Uターン、Iターンの促進に努めます。

新卒者等ふるさと就職奨励金事業起業家支援事業

↓ 婚活支援で出会いの機会を増やします。

婚活イベントの開催

※重点施策については6月30日に掲載します。

お問い合わせ先

鏡野町総合政策室

電話(0868)541-2983